

令和元年度

自己点検・評価報告書

東北栄養専門学校

1 自己点検・評価報告書の概要

東北栄養専門学校は「教育即生活」を建学の精神に掲げ、実社会および実生活に役立つ人間性豊かな人材を養成することを教育の基本理念に据え学園創立以来90年の歩みを進めてきた。この建学の精神は日常生活の中から学び実践することを教育の基本姿勢とし、教職員が常に意識して生徒に対処してきた。さらに、社会の一員として多くの卒業生を栄養士として第一線の現場へ送り出し、地元はもとより東北・関東と広域で活躍する人材を育成してきた。

今後、より一層、職業教育に対する期待が高まる中、本校の取組としても自立した職業人を育成し、地域や産業界のニーズに対応した教育を維持していく必要がある。

そのためには、専修学校としての質の保証・向上を図り社会全体の信頼を得ていくことが必要となる。なかでも、関係業界からのニーズを踏まえた教育活動等の点検・評価が組織を改善するためのPDCAサイクルの中に位置づけられ、教育の質の改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取組を推進していくことが重要であると考えている。

2 教育理念・目標

学校教育目標

「教育即生活」という学校の目標を掲げている。この建学の精神が人と人が環境を一つにし、交流しながら新たに創造的な生活空間を見出し、自ら考えて問題を解決しようと努力する態度を表現するものである。理念をもとに実践教育としては職業に必要とされる知識や技術、及び資格を取得・修得するためのカリキュラムを検討及び改善。卒業と同時に即戦力として働ける能力を身に付けることで地域社会の要請に応えられるように育成する。

評価結果

1 教育理念・目標

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められている	4.1
本校の教育理念・教育方針は生徒・保護者等に周知されている	3.8
本校の教育目標・育成人材像は業界のニーズに沿っている	4.0

<課題と改善点>

- ・知識・技術の習得だけでなく、即戦力として働ける能力を身に付けるために必要な内容を授業に組み込んでいく。対策：入学時に資料配付をする。
- ・教育理念・方針は保護者には十分伝えきれていないと思われる。月1回発行している学内新聞を活用し、具体的な実施状況を示す。

2 学校運営

評価項目	評価
目的に沿った運営方針が策定されている	3.5
運営方針に沿った事業計画が策定されている	3.5
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され有効に機能している	3.1
教育活動等に関する情報公開が適切になされている	3.4
情報システム化等による業務の効率化が図られている	2.6

<課題と改善点>

- ・学校運営の進捗状況・課題などを提起・報告し、教職員全体が把握できるようにしている。
- ・学園全体の共有化を図るため、情報公開を行っている。
- ・重要事項は理事会・評議員会の決定に従い運営している。

3 教育活動

評価項目	評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている	3.8
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされている	3.9
産官学連携によるインターンシップ・実習等が体系的に位置づけられている	3.5
授業評価の実施・評価体制が整備されている	3.9
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっている	3.5
資格取得等（情報関係）に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはある	3.9
専門分野における先端的な知識・機能等を修得するための研修や教員の指導育力育成など資質向上のための取組みが行われている	3.3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保している	3.0

<課題と改善点>

- ・カリキュラムは教育理念に沿った内容となっているが、コアカリキュラムの内容と併せて検討を重ね見直していく。
- ・技術面、知識面の学習効果としてアクティブラーニング的方法を取り入れる。個人もしくはグループ単位の課題解決型の指導により臨機応変な対応の訓練とする。
- ・栄養士の実力を確認するにあたり、栄養士実力認定試験を実施。全体的な成績向上をめざす。

4 学習成果

評価項目	評価
就職率の向上が図られている	4.1
資格取得率の向上が図られている	3.6
退学率の軽減が図られている	2.0
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している	2.6
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されている	2.6

<課題と改善点>

- ・就職率は毎年 100%となっている。今後は栄養士専門卒が 100%達成となるよう指導をする。
- ・退学軽減に関しては授業と仕事のミスマッチをなくす、メンタル面での退学者も増加しているため、カウンセリングの配置を実施。

5 教育環境

評価項目	評価
学校の施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	2.8
校内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備している	3.4
防災に対する体制は整備されている	3.4

<課題と改善点>

- ・エアコンの設置（暑さ寒さ対策）、障害者対応の設備、夏の調理室の適温適湿対策の検討が求められる。
- ・「防災マニュアル（消防計画）」に基づき避難訓練の実施を年 1 回行っている。

6 生徒支援

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されている	2.9
生徒相談（個人面談）に関する体制は整備されている	3.1
生徒に対する経済的（奨学金等）支援体制は整備されている	3.1
生徒の健康管理を担う組織体制がある	3.1
生徒の生活環境への支援は行われている	2.6

保護者と適切に連携している	3.4
卒業生への支援体制がある	3.1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されている	3.0
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われている	3.0

<課題と改善点>

- ・生徒の健康管理については精神的な面も含め、既往歴調査を実施し共通認識を図るようにしている。
- ・生徒の精神的なサポートは教職員の認識向上を図るため、校内外の研修機会を活用する。
- ・キャリア教育は継続して実施。企業との連携も検討に入れる。
- ・社会人対応は即戦力として働けるように、就職までのサポートを考慮した授業内容も検討していく。

7 募集活動

評価項目	評価
生徒募集活動は適正に行われている	3.0
生徒募集活動において、教育成果は確実に伝えられている	3.0
学納金は妥当なものとなっている	2.9

<課題と改善点>

- ・物価の動向や消費税の値上げも視野に入れ、適正な学納金額の検討、納入金額の見直しも検討していく。
- ・専門学校の特徴、教育方針、社会的ニーズ、将来性など自分の将来設計が描ける説明が必要。

8 法令等の遵守

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている	2.5
個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	3.0
自己評価の実施と問題点の改善を行っている	3.4
自己評価結果を公開している	3.0

<課題と改善点>

- ・特になし

9 財務

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定している	2.8
予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっている	2.8
財務について会計監査が適正に行われている	2.8
財務情報公開の体制整備はできている	2.6

<課題と改善点>

- ・財務情報に関しては、HP で公開している。

10 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている	2.9
生徒のボランティア活動を奨励、支援している	3.4
地域に対する公開講座、教育訓練の受託を積極的に実施している	3.4

<課題と改善点>

- ・公開講座の公表の仕方を工夫し参加者を増やす方法の検討。
- ・学校新聞の継続。学校の様子や情報を地域に伝えることを目標としていく
- ・ボランティア活動は各団体からの要請を受け行っていることが多い。
自主的参加をするよう指導していく。